

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2691800102		
法人名	株式会社 ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンターゆらの里 こもれび		
所在地	京都府綾部市豊里町福垣243番地		
自己評価作成日	平成28年11月1日	評価結果市町村受理日	平成29年3月31日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/26/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=2691800102-00&PrefCd=26&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター		
所在地	〒530-0041 大阪府北区天神橋2丁目4番17号 千代田第1ビル		
訪問調査日	平成28年12月12日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な雰囲気の中で、役割分担や余暇活動により、自分らしい暮らしが、送れるよう取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当該ホームはあたたかく優しい支援を心がけ利用者が笑顔で馴染みの人と暮らせるホーム作りを目指し、管理者やリーダーを中心に地域との交流や日々楽しみのある笑顔に繋がる対応ができるよう取り組んでいます。運営推進会議で自治会長から地域の災害対策などの情報を得てホームでの避難について検討したり、地域の公民館で行われる文化祭に利用者で作った作品を展示し見に行くなど、利用者が地域とつながりながら暮らせるよう支援しています。会議には訪問看護師の参加があり看取り支援についてなどのテーマを決めて話をしてもらうなど、有意義な会議となっています。また、習字や傾聴、音楽などのボランティアの来訪を受けたり、庭の畑で採れた芋でおやつを作ったりツルを利用してクリスマスリースを作成し利用者と楽しみ利用者の笑顔に繋がっています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	全職員に研修の場を設け、地域の方との交流も図り実践につなげています。	開設時に職員間で話し合い作成された理念は、フロアに掲示しミーティング時に唱和したり研修を行い浸透できるように取り組んでいます。利用者の笑顔と馴染みの人との暮らしを大切に支援すること等を謳い、管理者やリーダーを中心に理念にそって地域との交流や日々の対応ができるように取り組んでいます。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事には出来る限り参加しています。	運営推進会議に自治会長の出席があり地域の災害対策などの情報を得たり、地域の公民館で行われる文化祭に利用者で作った作品を展示し見に行っています。日々の散歩時に出会った方と挨拶を交わしたり、中学生の体験学習を受け入れその後も時々来てくれる子どももいます。また習字や傾聴、音楽などのボランティアの来訪があり、交流を楽しんでいます。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方に認知症の理解をして頂くよう勉強会など地域包括支援センターと協力する。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	検討事項で、地域での行事などの案内を頂くと参加して、地域との交流に取り組んでいます。	会議は家族や民生委員、自治会長、訪問看護師、市職員、地域包括支援センター職員等の参加を得て隔月に開催しています。ホームの通信を見てもらいながら近況や行事、事故等の報告を行い、参加者と意見交換をしています。訪問看護師が看取りのテーマを決め話をしてくれたり、災害時に避難場所へ行くことの危険性の意見が出され検討する等、有意義な会議となっています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議にご出席して頂き活動や入居者状況など報告しています。	運営推進会議に市職員が参加しておりホームの状況を知ってもらっており、日頃からわからない事があれば直接市役所に出向いて聞いたり、相談しアドバイスをもらっています。市から研修案内が来た時には順次参加しています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束防止について職員研修を行う。	法人の行う身体拘束についての研修に行った職員が伝達研修を行ったり、ホーム内のミーティング時に資料を配布し説明し、職員に周知しています。玄関やフロア入り口には鍵をかけず、出かけたいたい様子の時には付き添って出たり思いに寄り添うようにしています。フロア入り口に鈴を付けていますが、その善し悪しを検討し身体拘束に繋がらない支援に努めています。	

ニチイケアセンターゆらの里 こもれび

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止について職員研修を行う。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修課題として取り入れています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時十分な説明を行い理解して頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議録の掲示や意見箱の設置しています。家族様来設時には、意見を伺ったりしています。	毎月写真を多く載せた手書きのホーム便りを発行し、面会時にも利用者の様子を伝え、家族から意見や要望を聞いています。また、年に1度法人によるアンケートを行い直接伝え難いことでも言える機会を作っています。医療行為についてホームでできることなどの質問を受けて答えたり、髪を切るタイミングなど家族からの些細な要望から利用者全体についても確認するなどサービスの向上に繋がっています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ご利用者様にとって何がよいのか常に関心を持ち、職員の話聞いています。	リーダーは常に職員の業務改善等の提案や意見を聞き、毎日の申し送りや不定期で開催するフロアごとの会議で話し合ったり、決まったことはノートに記載し全職員に伝えています。行事や広報、献立などの担当を職員が担い、主体的に意見を出し運営に反映させています。法人による年に2回の面談や職員の様子を観て管理者が随時個別に面談を行い、思いや意見を聞いています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアアップ制度があり、随時挑戦している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員研修年間計画を立て、毎月研修を行っています。また近隣の研修予定の回覧もまわし、積極的な参加を促しています。		

ニチイケアセンターゆらの里 こもれび

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	毎月居住系の会議を行い情報の共有をしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者様の意向を取り入れ傾聴し共感することで心の交流を心がけています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初めて、グループホームをご利用頂く事の不安と一緒に感じ、ここでの生活をこまめに報告して信頼関係を築いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面談時、グループホームの説明と共に他サービスの情報もお伝えして必要であれば紹介もしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に支えあえる関係を取れているご利用者様もありますが、こちらから促しの必要な方もあります。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の思いを家族に伝え、家族様とご本人様のコミュニケーションがとれる様に支援する。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族様との連携は常に心がけています。この地域との交流は積極的に参加を心がけています。	友人や以前近隣に住んでいた方などの面会があった際には、居室に案内しお茶を出すなどしてゆっくり過ごしてもらえるよう配慮しています。また信仰していた宗教の牧師等が来訪し時には讃美歌を歌うなど楽しめる方もいます。家族の協力を得て生家へドライブしたり、家族の告別式への出席、自宅に帰る利用者には日程調整や準備などを行っています。また、年賀状のやり取りができるよう住所記入等を支援しています。	

ニチイケアセンターゆらの里 こもれび

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	出来るだけ居間で過ごして頂き、ご利用者様同士が共に、作業や食事の後始末などして頂き一緒に達成感を味わってもらっています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	その様な状況には、相談や支援に努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族様と協力の上、出来る限り思いに沿う様に連携をとっております。	入居時に自宅に訪問したり担当であったケアマネジャー等から情報を得ると共に、本人や家族から思いや意向を聞いています。入居後は日々の関わりの中で得られた情報を職員がアセスメントシートに追記していき職員間で情報共有できるようにしています。思いの把握が困難な場合は、日々の様子を詳細に記録に残しケア会議で話し合い思いを汲み取れるよう努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	傾聴や共感することで、その方を深く知り情報を共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その方の生活を大事に今の体力が維持できるように支援しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活を行う中でご本人の意向にそった暮らしができるようにモニタリングしています。	本人の思いや家族の意向、アセスメントを基にサービス担当者会議を開き介護計画を作成しています。入居後1年間や状況が変わる方は3か月毎、変わらない方は6か月毎に見直しを行っています。見直しに当たってはモニタリングや評価を行い、家族の意向を確認し、訪問看護や往診時の情報を確認し、サービス担当者会議を開いています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	見守りの中で常に個別性を考え、その人が、その人らしく過ごせるよう職員間で継続したケアをして介護計画に繋げています。		

ニチイケアセンターゆらの里 こもれび

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	新しいニーズが出てきたら検討して、取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方の活動や行事など知る事が出来て、今後はもっと地域に積極的に参加できるように支援していきます。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人様の状態にあわせ、往診や通院介助の支援をしています。	入居時に今までのかかりつけ医を継続できることも説明し、継続している方は家族が受診支援をしています。協力病院への受診が必要な場合は職員が同行しています。協力医の定期往診は月に2回あり利用者は月に1回の診察を受けています。週に1回訪問看護師による健康管理を受け、24時間連絡が可能で状況に応じて相談し対応しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	H25年12月より訪問看護を利用する事になり、個々のご利用者様の状況把握してもらい、24時間体制で対応して頂き適切なアドバイスを貰っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院の相談員様と医師や家族様との連携でスムーズな関係作り行っています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族に医療連携の説明と共に重度化されたり、終末期のことも今後考えていく必要がありますねと声かけはしてあります。	入居時にホームの重度化や看取りの対応指針にそって説明を行い同意を得ており、実際に重度になってきたときに改めて医師から状況を家族に伝え話し合いながら方針を決めています。看取り支援の経験もあり、家族に泊まってもらう等の協力を得ることもあり、医師や看護師からアドバイスをもらい医療連携を図り取り組んでいます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応マニュアルに沿った行動をするように、常に連絡体制はとっています。		

ニチイケアセンターゆらの里 こもれび

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の自治会や民生委員様との連携をとり、地域の訓練にも参加しております。	年に2回内1回は消防署立ち合いの下昼夜を想定し防災訓練を実施しています。川の氾濫を想定した訓練や火災時の通報や初期消火、避難誘導の訓練を行い、自治会長や近隣の職員の協力が得られるように依頼しています。また地域の防災訓練には利用者と一緒に参加し協力体制に繋がりたいと考えています。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	親しく接しても、言葉かけはご入居者をうやまい尊厳をまもるように心がけています。	入職時研修や人権やプライバシー保護、接遇などのマニュアルに沿ってホーム内で研修を行い、人生の先輩として敬意を払い丁寧な言葉掛けや対応に努めています。苗字で呼ぶことを基本としています。名前の方が安心する場合は家族の了承を得たり、希望にそって同性介助で対応する等個々に応じて支援しています。馴れ馴れしくなったり不適切な対応があればその都度注意しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	毎日の声かけの中で興味のあることやしたい事を感じとり、実現できるようお手伝いしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	グループホームはゆっくり穏やかな時間の流れです。お一人、お一人様の希望に沿うよう支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣服の選択については行事の時などはおしゃれして頂いていますが、平日は清潔で暖かでお気に入りの洋服を一緒に選んで頂いています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	行事や季節を感じる食事の提供や、一緒に片付けをゆっくり話をして、家族の一員のような雰囲気味わって頂いています。	現在は弁当や湯せんで温めて提供する食事を中心とし、味噌汁や胡麻和えなどの一品を利用者と一緒につったり、食器洗いなどのできることに携わってもらっています。節分やひな祭りなどの季節の食事や誕生日には本人の希望を聞き献立を考えて好みの食事を楽しめるよう支援しています。スイートポテトやホットケーキ、プリンなど手作りのおやつを楽しんでいます。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分、食事摂取量を介護記録にて把握しています。		

ニチイケアセンターゆらの里 こもれび

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科衛生士による口腔指導を受けています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	お一人お一人様にあった声かけをして自立した排泄を支援しています。	排泄が自立している利用者も多くいますが、必要に応じてチェック表や日々の記録で排泄のパターンを把握し、個々に応じたタイミングでトイレに行けるよう支援しています。自立支援に向け毎日の申し送りで排泄用品の種類や支援の方法を検討し、特に退院後には入院前の状況に戻れるように取り組んでいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳酸菌飲料や乳製品を提供し、適度な運動の促し、水分補給や食品の提供を工夫しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	あらかじめ曜日は決めています、ご本人の意向に合わせて入浴して頂いております。	入浴は週に2回を基本に毎日午前から夕方5時くらいまでの間に準備し、希望を聞きながら支援しています。一人ずつゆっくりとコミュニケーションをとりながら音楽をかけたり、好みのシャンプーやリンスを持って来て使用する方もおり、入浴を楽しんでもらっています。入浴を拒否される方には言葉のかけ方の工夫やタイミングを図り、無理のない入浴に繋がっています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各個室にて、ご入居者様の入眠時間に合わせた見守りを提供しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師の服薬処方を職員全員が確認し間違いの無いようにダブルチェックしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご入居前までされていた趣味活動や畑仕事が続けられるよう支援しております。		

ニチイケアセンターゆらの里 こもれび

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散髪や美容院、お買い物などご本人様の意向に合わせ外出を随時支援しています。	個々の利用者の希望に沿って散歩や買い物に出掛け、気候や天気の良い時にはホームの敷地内を歩いたり、庭に椅子を出して外気浴をするなど外気に触れる機会を作っています。春には近隣の中学校に桜の花を見に行ったり、今年度は回転寿司の外食に出掛け利用者に楽しんでもらっています。	外出の希望者以外にも日常的に外気に触れられるよう庭や玄関先にベンチを置いたり、散歩などの機会が増えていくことを期待します。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にお小遣い金は、施設でお預かりさせて頂き、ご利用時にご本人様が自由に使えるように支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自ら電話をかけたい、手紙を書きたい、と言われた場合家族様と連携とって支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間やローカ、玄関には、入居者様と職員で作成した季節の作品を飾り季節感を味わって頂いています。	共有空間には利用者と一緒に作った壁絵や庭で採れた芋のツルを使った手作りリースなどが飾られ、季節を感じられるように工夫しています。カレンダーを見やすい位置に掛けたり、和室にリクライニングの椅子や廊下にはリビングから少し離れ過ごせるような椅子を置き、利用者が暮らしやすいよう配慮しています。温室時計や加湿空気清浄機を設置し、温湿度管理に気を配り毎日利用者と一緒に掃除を行い、居心地の良い空間作りに努めています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	座りなれた馴染みの席で気の合う方と、くつろいで頂いています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	空調設備を整え、本人様の生活スタイルに合わせ、落ち着いて過して頂いています。	入居時に使い慣れたものを持ってきてもらえるように伝え、テレビや椅子や桐のたんす、火鉢などを持ってきている方がおり、家族と相談しながら配置を決めています。じゅうたんを敷き布団で休む方が居たり、大切なアルバムや趣味の切手やコイン収集したものなどをそばに置き、以前の暮らしを大切に考え安心して過ごせるようにしています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	オープンキッチンで料理や、食器洗い、食器拭きも手伝って頂いています。		